

オーケストラ・プライベート・エクイティ コンプライアンスポリシー

2021年 11月 1日

コンプライアンスポリシー

オーケストラ・プライベート・エクイティ(以下「オーケストラ」)の投資及び運用は、複数の地域に及んでおり、世界中の投資家が参加しています。コンプライアンスはオーケストラの基本理念であり、オーケストラの継続的な事業活動と成功を保証するために不可欠です。

オーケストラは、すべての適用法令及び規制を遵守することを約束します。日々の業務を遂行し、責任を果たす中で求められる基準と実践規範の要件を満たすよう取り組んでいます。厳格かつ実践的なアプローチを採用し、方針、行動基準、規則、手続きなどのフレームワークを組み合わせることで、オーケストラは投資家を保護し、市場の公正性、効率性、透明性を確保するとともに、システムリスクを低減し、金融犯罪を排除するという規制上の目的を達成することができます。

規制上の目的に加え、オーケストラのコンプライアンスポリシーはリスクマネジメント、マーケティング、コミュニケーション、データ・プライバシー、利益相反、顧客との取引、インサイダー取引、顧客の資産及び金銭、さらにはルール違反やエラーなどの主要な懸念事項に対するガバナンスによって、投資家のオーケストラに対する信頼を高めるために策定されています。

オーケストラ・プライベート・エクイティ コンプライアンスマニュアル

オーケストラ・プライベート・エクイティ(以下「オーケストラ」)は、すべての法令及び規制を遵守することを約束します。日々の業務を遂行し、責任を果たす中で求められる基準と行動規範の要件を満たすよう取り組んでいます。

この取り組みに従い、オーケストラは以下のコンプライアンスポリシーを構築しました。

- 法令、規制、規則、ポリシーを遵守し、高水準のコンプライアンス及び倫理の規程に則って行動する
- 犠牲や不公平な扱いを恐れずに、コンプライアンス違反を率直かつオープンに開示できる企業文化を促進する
- ビジネスプロセスを文書化し、継続的に見直し、更新することで法令及び規制遵守を確認する
- 従業員の義務として、効果的なコンプライアンス活動ができるようトレーニングと支援を提供する
- コンプライアンス違反やシステム障害の実態を特定し、オーケストラ、投資家、従業員、ベンダー、及び関連会社を故意または不注意による違反とそれに伴う罰則から保護するために、モニタリング、管理、報告する仕組みを維持する
- コンプライアンス違反の実態や重大な法的リスクにさらされている状況に対処するため、必要に応じて迅速な行動をとる
- あらかじめ設定された目的と評価基準に照らしあわせて、コンプライアンスを評価する

オーケストラの従業員はコンプライアンスマニュアルに記載されている基準、方針、ガイドラインを読み、署名し、遵守することが義務付けられています。また、従業員がオーケストラとの雇用関係を解消した後も継続する規程が含まれています。コンプライアンスマニュアルの中には以下のような重要な規程と方針が含まれています。マネーロンダリング防止、市場における不正行為、汚職の防止、プライバシー規制、記録保存の義務、倫理的な事業活動、リスクマネジメント、事業継続計画 (BCP)、アウトソーシングポリシー、IT及びサイバーセキュリティ対策、反社会的勢力の関係遮断(日本)。

オーケストラのコンプライアンスマニュアルは社内用文書です。投資家、監査人及び政府当局に対してのみ、必要に応じて開示されます。

オーケストラ・プライベート・エクイティのコンプライアンスポリシー、及びコンプライアンスマニュアルはオーケストラの事業、規制、オペレーションの環境を反映し、毎年見直しが行われます。

- 以上 -